

づき、暴力をはじめとする「患者トラブルへの対応」をテーマとしました。専門の先生方から、院内暴力の現状と医療安全管理部門でできる対応策等についてご講演いただいた上で、参加者の皆様にも事例をご検討いただくワークショップ等も企画しております。

また、国内外の医療安全政策に関する最新の動向についても情報提供いたします。

なお、2日間全日程に参加された方には、参加証明書を発行します。

・日時 2018年1月27日(土) 12:00～1月28日(日)16:00

・場所 公益社団法人日本看護協会 地下2階
JNAホール
(〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2)

・プログラム

第1日目 1月27日(土)

12:00 受付開始

13:00 開会

日本医療マネジメント学会理事長 宮崎久義

13:10～14:00 基調講演

「医療安全政策の最新動向」

厚生労働省医政局総務課医療安全推進室

医療安全対策調整官 芝田 おぐさ

14:00～15:00 講演

「事故調その後～全病院的な検討の実践」

自治医科大学附属さいたま医療センター

医療安全・渉外対策部教授 遠山信幸

15:00～16:30 講演

「WHOカリキュラムガイドを活用した患者安全マネジメント」

千葉大学医学部附属病院医療安全管理部教授

相馬孝博

16:30～17:00 質疑・応答

第2日目 1月28日(日)

9:00～11:00 ワークショップ導入1

「患者暴力の現状と病院・医療安全管理者ができる対策の基本」

筑波大学医学医療系准教授 三木明子

11:00～12:00 ワークショップ導入2

「事故情報の開示とその組織的対応」

宮城大学社会工学系(地域創生学類担当)教授

藤澤由和

12:00～13:00 昼食

13:00～14:00 ワークショップ

14:00～15:55 ワークショップ 発表

アドバイザー：三重大学医学部附属病院医療安全管理部教授

／副病院長 兼児敏浩

東京医療保健大学医療保健学部看護学科教授・学科長

坂本すが

宮城大学社会工学系(地域創生学類担当)教授

藤澤由和

総括・質疑：筑波大学医学医療系准教授 三木明子

16:00 閉会 日本医療マネジメント学会

医療安全委員会委員長 坂本すが

〈募集要項〉

○会費 10,000円(但し、学会非会員15,000円)

○定員 100名(定員を満了次第締め切らせて頂きますので、お早めにお申込み下さい)

○受付期間 2017年12月1日(金)～2018年1月5日(金)

○問合せ先 日本医療マネジメント学会事務局

2017年度 医療連携分科会

テーマ：同時改定と地域連携

2018年は医療・介護の6年に1度の同時改定年です。同時改定は、医療と介護の連携のまたとない機会です。このため今回の改定にあたっては診療報酬を検討する中医協と、介護報酬を検討する介護給付費分科会の間でも、事前の意見交換が行われました。

今回は医療と介護の同時改定における課題と、地域における医療と介護連携の現状を振り返りながら、同時改定への理解を深めたいと思います。みなさんのご参集をお待ちしています。

・日時 2018年2月17日(土) 10:30～16:00

・場所 日本医科大学 教育棟2階 講堂

(〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5)

・プログラム

9:30 受付開始

10:30 開会

日本医療マネジメント学会理事長 宮崎久義

10:45～11:30 基調講演1

「これからの慢性期医療と地域連携」

日本慢性期医療協会会長 武久洋三

11:30～12:30 基調講演2

「医療と介護を結ぶケアサイクル論」

一般社団法人未来医療研究機構代表理事

長谷川 敏彦

12:30～13:30 休憩

13:30～14:00 講演1

「入退院支援と医療介護連携の在り方」

国際医療福祉大学大学院教授

(中医協入院医療分科会会長) 武藤正樹

14:00～14:30 講演2

「医療と介護の連携と同時改定を考える(医師会の立場から)」

日本医師会常任理事 鈴木邦彦